

6学級53名 5月18日訪問

取組概要

木立小学校では、「学びを生きし 心豊かで たくましい木立っ子の育成」を目指し、佐伯南中学校区共通の課題・取組の方向性を踏まえて学校の具体的な取組をチームごとに立案し、主任を中心にしながら取組を推進している。

工夫・ポイント

- 【学校マネジメントの工夫】
 - ◆教務・研究・生活指導の各主任が中心となり、重点的取組に係る取組内容や取組指標等を設定・提案し、組織的に取り組むことができるよう横連携を図っている。
 - ◆児童一人ひとりが安心して学校生活を送ることができるよう、教育相談コーディネーターが中心となってSCと児童全員の面談を行い、必要な情報を共有できる体制を整えている。

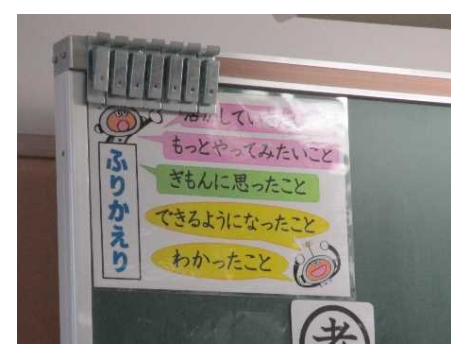
働き方改革の工夫

- ◆「減らす」「なくす」を視点に、会議・行事等の見直し・精選について、学期末に一人ひとりの教職員が提案している。例えば、学習発表会を廃止し、既存の発表集会を保護者等へ周知する等して、児童の発表の機会・保護者等が発表を聞く機会を確保している。
- ◆「どこにどの教材があるか」が分かるようラベリングして整理している。(教材室)



授業づくりの工夫等

振り返りの視点を明示



端末 (ICT) 活用



自分のノートを撮影し共有。氏名を入力しているので誰の考えかを即時に確認。モニタの位置を工夫して、板書に整理した児童の考えのポイントを見えやすくする。

読書習慣を付ける工夫



「読んで欲しい本」を準備し、読んだらシールを貼る (低学年)



読書日記にある本を読み、感想等を付箋に書いて交流する (5年生)

